

みなとが変わると日本が変わる～21世紀の活力はみなとから～

# 港湾空港ニュース香川

—高松港湾・空港整備事務所だより—

2015

6

月号

<No.187>

## CONTENTS

- 浚渫工事
- 備讃瀬戸航路
- 高松空港 滑走路改良
- 高松空港 耐震化
- イベント情報など



国土交通省 四国地方整備局  
高松港湾・空港整備事務所



平成27年4月4日 CALEDONIAN SKY

## 就任ご挨拶

平成27年4月1日付で、事務所長を拝命いたしました。廣松新と申します。どうぞよろしくお願いたします。

私は、これまで、主に道路整備に携わってきました。港湾と空港整備に携わるのは初めてです。また、地方整備局（地整）での勤務は3度目で、過去には、新潟市（北陸地整）、岐阜県の高山市（中部地整）で勤務しました。したがって、四国地整勤務も初めてです。初めて尽くしで、周囲の皆様から心配されてますが、新しい環境を自分なりに楽しみたいと思います。

上述のように、港湾と空港整備関係の業務については、ゼロからのスタートで戸惑うことばかりです。ただし、事務所長経験は、高山国道事務所に次いで2回目ですので、その経験と反省を生かしたいと考えています。それらに鑑みると、事務所長（組織の長）に求められる能力は、主に以下の3点だと理解しています。

1点目は、マネジメント能力です。これは、時間と人的な制約条件下で、優先順位を定め、業務に求められる期限と水準を可能な限り定量的に示すこと、そしてそれを達成するための環境を整えることだと考えます。

2点目は、コミュニケーション能力です。特段の説明は不要ですが、組織の外に對し、一方通行ではなく、双方向でのコミュニケーションが重要と考えます。

3点目は、危機管理能力です。こう書くと、どうしても大災害発生時の対応をイメージしがちですが、それだけでなく、通常業務においても少なからず危機管理の要素は含まれており、それらを敏感に感じ取り、周囲に伝えることが組織の長としての務めだと考えます。

以上の3点を中心に、全力で職務に取り組む所存です。

初回ですので、若干固い文章になってしまいました。次回以降は、もう少し柔らかくしたいと思いますので、引き続きよろしくお願いたします。

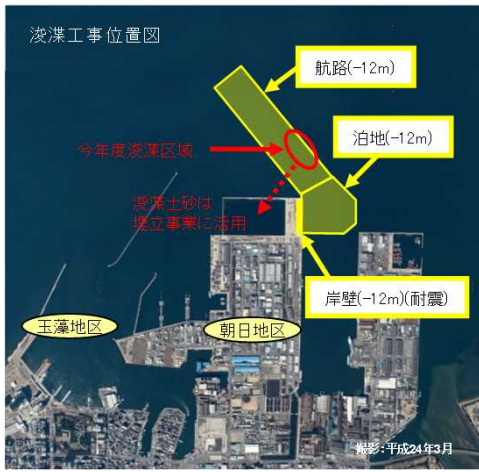
高松港湾・空港整備事務所長

廣松 新



# 浚渫工事

## 高松港朝日地区



高松港湾・空港整備事務所では、高松港朝日地区国際物流ターミナル整備事業を実施しており、平成23年度に岸壁（水深12 $\text{m}$ ）（耐震）、平成26年度に泊地（水深12 $\text{m}$ ）が完成しました。今年度は昨年度に引き続き航路（水深12 $\text{m}$ ）の浚渫工事を実施します。浚渫工事には、グラブ式浚渫船を使用します。グラブ式浚渫船では、クレーンで吊り下げられたグラブバケットと呼ばれる土砂をつかみ取る装置で海底を掘削し、つかみ取つ



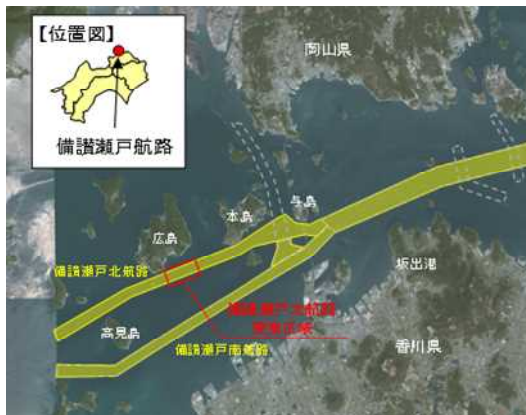
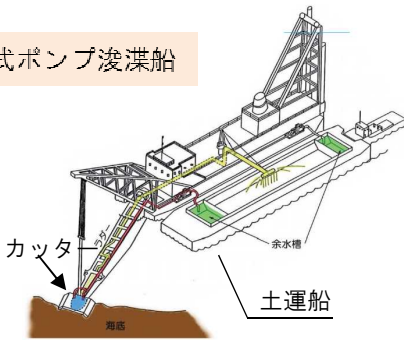
▲浚渫土砂を県の埋立事業に活用



▲浚渫工事の状況

た土砂を運搬する船（土運船）に積み込む作業を行います。土運船に積み込まれた土砂は、香川県事業の埋立事業に活用する計画です。（工務課 杉浦）

## 循環式ポンプ浚渫船



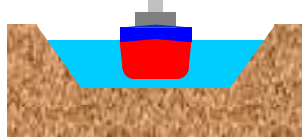
備讃瀬戸航路において、浅所が確認されている備讃瀬戸北航路の維持管理のため、平成25年度より浚渫工事に着手しています。浚渫にあたっては、美しい瀬戸内海の環境を守るために、循環式ポンプ浚渫船という専用に改造した浚渫船を用いて、海水を循環させることにより、濁りの発生を極力抑えています。浚渫期間中、工事区域は、一般船舶の航行が禁止されますので、同海域を航行する船舶は十分注意して航行されるようにご協力をお願いします。（航路管理課 谷定）

# 備讃瀬戸航路

- ① カッターで海底土砂を掘削する。
- ② 掘削した土砂と海水をポンプで一緒に吸い上げ土運船（土砂を運搬する船）に排出する。
- ③ 土運船で土砂と海水を分離する。海水は土運船に設けた余水槽に分離される。余水槽に分離した余分な海水を循環式のポンプで海底に戻すことにより、土運船から濁りがあふれ出すのを防止します。
- ④



浚渫前



浚渫後

砂の堆積、落下物等による障害が解消され船舶が安全に航行できるようになる

航路の維持管理とは 船が安全に航行するためには、陸上の道路と同様に、常に対象となる船舶の大きさに応じた航路幅・水深を確保しておかなければなりません。そのためには、日常的な維持管理が必要であり、定期的に航路の状況を確認（巡回や水深測量）しています。砂の堆積や沈降物等により航路幅・水深の不足が見つかった場合は、水深を深くするための工事（浚渫や障害物の撤去）を行います。

# 高松空港 滑走路改良



高松空港は高松市の中心から約16kmの高松市香南町に、平成元年12月に開港した国土交通大臣が設置管理する空港です。

平成27年4月現在、高松空港の定期路線は国内線3路線（羽田、成田、沖縄）1日最大34便、国際線3路線（ソウル、上海、台北）週22便が就航し、航空機の離発着が繰り返し行われています。

そのような中、航空機の安全な運航のため、日頃から滑走路の舗装の点検や補修など空港施設の維持管理が行われています。しかし、前回の舗装の打ち替えから10年程度が



▲航空機の着陸状況

経過し、ひび割れやわだち掘れなど舗装の劣化が進んできたため、昨年度に解体調査など詳細な調査等を実施し、今年度から4年間で滑走路全長2,500mの舗装の打ち替えを順次実施していく予定です。

なお、舗装の打ち替え工事は舗装の表面温度が低下しやすい冬場、日々の航空機の運航に支障がないよう、航空機が運航されていない22時〜7時の夜間で実施します。

（工務課 西森）



▲昨年度の誘導路改良工事の状況

## 高松空港 耐震化

高松空港は地震に強い空港のあり方検討委員会等において、空港輸送上重要な空港に位置付けられており、地震災害時の緊急物資輸送や人員等輸送基地などの役割を果たすため、南海トラフの巨大地震など新たな地震も踏まえ、昨年度に滑走路及び誘導路の耐震性を確認した結果、地下道（市道、吉光高根線）が設置されている範囲については耐震性の強化が必要となったものです。

今後は地下道部の耐震補強のための対策断面の



▲地下道全景

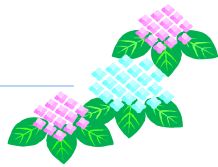


▲地下道耐震補強予定範囲

設計、工事実施に向けた安全対策や警察協議などを実施し、今年度中に地下道部の耐震補強工事を実施する予定です。

（工務課 西森）

# イベント情報



## リフレッシュ瀬戸内

### —ボランティアによる海岸清掃活動—

【日時】6月21日(日) 午前7:00～概ね1時間程度  
(少雨決行:雨天の場合は6月28日(日)午前7:00～)

【場所】小松原海岸ほか  
※上記以外にも各地の海岸等で清掃活動を行っております。  
詳細は下記までお問い合わせ下さい。

【内容】海岸の清掃

### 【問い合わせ先】

東かがわ市事業部建設課 都市計画・維持グループ  
海岸清掃担当 TEL: 0879-26-1302



## うたづアロハナイト

### —フラダンスイベント—



【日時】7月18日(土)～7月19日(日) 17:00～21:00

【場所】うたづ臨海公園(香川県宇多津町)

【内容】フラダンスイベント、宇多津町特産品 飲食・物品販売

### 【問い合わせ先】

うたづ海ホテル  
〒769-0292 香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4  
TEL: 0877-49-0860



## 5万トン級岸壁(サンポート高松) 入出港予定

ばしふいっくびいなす 26,594トン

入港 7月 16日(木) 12時00分  
出港 7月 16日(木) 21時00分

飛鳥II 50,142トン

入港 8月 13日(木) 7時30分  
出港 8月 14日(金) 7時00分

### 【ご注意下さい】

船の入出港時には、網取用の鎖(ちもい銃)が放たれる等、  
大変危険且つ作業の支障となりますので、岸壁付近には近づかないようお願い致します。  
また、入出港日、時刻はあくまで予定で、前後又は変更する場合があります。



# 「美讃」一般公開

## 海面清掃兼油回収船

【見学は事前申し込み不要・無料】

【日時】7月20日(月) 10:00～15:30 (最終受付15:00)

【場所】高松港サンポート(大型旅客船ふ頭横)

【内容】浮遊ごみや浮遊油を回収する「美讃」

を一般公開します。

- ・船内見学(操舵室、作業甲板)
- ・パネル展示
- ・船員服試着&記念撮影

### 【問い合わせ先】

高松港湾・空港整備事務所 企画調整課  
TEL: 087-851-5524



▲海のゴミや油を回収する「美讃」



▲「美讃」一般公開の様子

## 練習船 大成丸 船内視察



▲大成丸



▲船内には無線も設置されています



▲大成丸 船橋(ブリッジ)

平成27年1月28日高松港係留中の大成丸船内を見学させていただきました。  
「大成丸」は内航の船員を訓練・育成している(独)航海訓練所の練習船です。船内を拝見させていただくと、機関室や診察室、厨房など様々な設備あり、教室では授業が行われていました。  
大成丸には航海船橋と実習船橋の2つの船橋(ブリッジ)が設置されており、大成

丸は内航貨物船と同じような視界で航海訓練が行えるようになっていきます。ここで実習生は航海士の下で航海訓練を行っています。また、実習船橋には操船シミュレーターがあり、様々な状況を設定した航海の訓練を行えるようになっていました。  
今回は112名の実習生が航海訓練をされていました。  
(企画調整課 八木)

### ●高松港湾・空港整備事務所

〒760-0011  
高松市浜ノ町7番9号  
TEL087-851-5522  
FAX087-826-1210

### ●坂出港分室

〒762-0002  
坂出市入船町1-5-26  
TEL0877-46-0311  
FAX0877-45-4689



国土交通省・四国地方整備局  
高松港湾・空港整備事務所

【ホームページアドレス】

<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/takamatsu/>

お気軽にアクセスしてください♪  
皆さんからのお便りもお待ちしています。

『海とみなとの相談窓口』全国共通フリーダイヤル

おーいによくなれみなど  
**0120-497-370**

受付時間\* : 9:30～12:00と13:00～17:00  
(土・日・祝祭日・年末年始を除く) \*一部の地域を除きます。

